

エムダイヤ、切断機拡充

投入幅1500ミリ 太陽光パネル対応

環境リサイクル機械メーカーのエムダイヤ(本社：富山県滑川市、森弘吉社長)は、このほど、切断機「エコカッター1500」の品増えを拡充した。従来の機種は投入幅600ミリと900ミリだが、開発した新機種は1500

ミリまで投入幅を拡大。これによりマットレスや貴、太陽光発電パネルのリサイクルにも対応できるようになった。中古部品を再利用した機種も展開する。エコカッター1500は同社が特許を持つ万能型切断機。薄い紙

から金属、防弾チョッキに使うアラミド繊維といった難切断材まで幅広い素材に対応しており、対象物の形状を維持したまま切断できるのが特長だ。これまでエコカッター1600、同900、同900の3機種を

から金属、防弾チョッキに使うアラミド繊維やエアコンの室外機、電線などをリサイクルするための前処理に使われている。今回開発した新機種は「エコカッター1500」。切断材の投入幅を1500ミリに広げた。標準品の開口部の

投入幅を広げたエコカッター1500



最大高さは2500ミリだが、顧客のニーズに応じて高さの変更が可能だ。将来の大量廃棄が見込まれる太陽光発電パ

ネルをリサイクルする際の前処理の切断に活用できる。太陽光パネルには銅やアルミ、銀などの有価金属だけでなくアンチモンやヒ素

などの有害物質も含まれているため、「使用済みパネルをそのまま破砕してリサイクルする方が効果的」と森社長は説明する。

従来の機種では対応できなかったベッドのマットレスや畳などの廃棄物も切断できる。マットレスは切断後に同社が特許を持つ分離

・破砕機「エコセパレ」を使って繊維とほねを選別する。

使用済みの自社製リサイクル機械を修繕して再生するアップサイクルモデルも品揃えする。過去に販売した機械を買い取り部品を再塗装や補修して再生する。5月22日から24日にかけて東京ビッグサイトで開催されるNEW環境展にエコカッター1500のアップサイクル機種を出展。顧客ニーズを探りながら本格販売につなげたい考えだ。